

経営改善及び連携・活用に関する取組評価

(令和3(2021)年度)

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局緑政部みどりの管理課
-----------------	------------------	------------	-----------------

1. 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する取組

本市施策における法人の役割

市の緑地等に関する事業及び民有地の緑化に関する事業の推進に協力し、公園緑地の円滑な運営及び健全な利用の促進並びに市民の緑化意識の向上を図ることによって緑豊かな潤いと安らぎのあるまちづくりに寄与するとともに、ボランティアセンターとしての機能を付加することで、市民活動拠点として充実させること

- ・緑のボランティア育成及び持続的な活動の支援
- ・民有地に対する助成事業を行い、緑の保全、緑化の推進及び緑化意識の向上
- ・公園緑地施設等の管理運営

法人の取組と関連する計画	市総合計画と連携する計画等	基本政策	施策
		市民生活を豊かにする環境づくり	協働の取組による緑の創出と育成
	分野別計画	川崎市緑の基本計画	

4カ年計画の目標

緑の保全と緑豊かな街づくりの推進及び公園緑地の円滑な運営を通して市民に健全な利用の促進を図り、潤いと安らぎのある街づくりを行うことによって、地域社会の健全な発展に寄与するという公園緑地協会の目的を達成するため、「緑の街づくりの推進及び普及啓発に関する事業」「公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業」「収益事業」の3つを柱に、川崎市の緑の保全と緑豊かな街づくりを推進し、法人を市民等の緑の活動支援や育成、普及啓発のためのボランティアセンターとしての機能を有する緑の拠点として位置づけ、緑に関する事業運営を推進拡充していきます。

2. 本市施策推進に向けた事業取組

取組No.	事業名	指標	単位	現状値 (平成29(2017) 年度)	目標値 (令和3(2021) 年度)	実績値 (令和3(2021) 年度)	達成度 (%)	本市による評価 ・達成状況 (※2) ・費用対効果 (※3)	今後の取組の 方向性 (※4)
①	緑化推進・普及啓発事業	広報出稿等回数	回	241	250	251	a	A	I
		記念樹配布本数	本	1,126	1,170	1,442	a		
		事業別の行政サービスコスト	千円	50,573	50,000	51,031	2)		
②	緑のボランティア事業(緑のボランティアセンター運営事業)	各種講座受講者満足度	%	90	98	99	a	C	II
		各種講座受講者数	名	3,866	3,900	2,113	d		
		事業別の行政サービスコスト	千円	61,305	61,000	67,849	3)		
③	公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業	各種イベント等実施回数	回	36	39	32	c	D	II
		ばら苑来苑者数	人	75,112	100,000	68,145	c		
		事業別の行政サービスコスト	千円	238,681	206,000	187,525	1)		

3. 経営健全化に向けた取組

取組No.	項目名	指標	単位	現状値 (平成29(2017) 年度)	目標値 (令和3(2021) 年度)	実績値 (令和3(2021) 年度)	達成度	本市による 評価 ・達成状況	今後の取組の方 向性
①	経費の削減	一般管理費	千円	23,673	22,000	19,383	a	A	I

4. 業務・組織に関する取組

取組No.	項目名	指標	単位	現状値 (平成29(2017) 年度)	目標値 (令和3(2021) 年度)	実績値 (令和3(2021) 年度)	達成度	本市による 評価 ・達成状況	今後の取組の方 向性
①	人事給与制度の改革	役員報酬、正規職員給与	千円	88,227	63,000	73,282	b	C	II
②	コンプライアンスの徹底	コンプライアンスに反する事案の発生件数	件	0	0	0	a	A	I

(※1)【a. 目標値以上、b. 現状値以上～目標値未満、c. 目標達成率60%以上～現状値未満、d. 目標達成率60%未満】

(行政サービスコストに対する達成度については、1. 実績値が目標値の100%未満、2. 実績値が目標値の100%以上～110%未満、3. 実績値が目標値の110%以上～120%未満、4. 実績値が120%以上)

(※2)【A. 目標を達成した、B. ほぼ目標を達成した、C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった、D. 現状を下回るものが多くあった、E. 現状を大幅に下回った】

(※3)【(1). 十分である、(2). 概ね十分である、(3). やや不十分である、(4). 不十分である】

(※4)【I. 現状のまま取組を継続、II. 目標の見直し又は取組の改善を行い取組を継続、III. 状況の変化により取組を中止】

本市による総括

各取組の評価結果を踏まえ、本市が今後法人に期待すること、対策の強化を望む部分など

【令和2(2020)年度取組評価における総括コメントに対する法人の受止めと対応】

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各種講座やイベントを計画どおり開催することが困難な状況の中で、講座の開催方法や内容の変更など感染症拡大防止のための工夫を凝らして開催することにより、受講者数の確保と受講生の満足度の向上に取り組めました。

一方、新型コロナウイルス感染症拡大により外出及び長距離の移動が制限される中で、協会に登録している約270の「緑の活動団体」等を対象としたイベントや交流会の中止が続いたため、緑の活動団体への支援として、直接活動場所を訪問して交流や活動支援を行いました。また、公園緑地におけるボランティアの新たな担い手の発掘やグリーンコミュニティの形成を目的として、学校や町内会等、既存の愛護団体以外の団体と連携した実証実験を実施し、人材バンクを活用して剪定作業等を実施しました。

経営の健全化、業務・組織につきましては、引き続き事業の効率化に取り組むとともに、経営の安定化に向け正規職員3名の退職に伴う正規職員の採用は行わず、効率的な人員配置の見直しにより人件費の削減を図りました。

【令和3(2021)年度取組評価における総括コメント】

一昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各種講座やイベントを中止せざるを得ない状況の中、従来会場に人を集めて実施していた講座を、各種団体に直接訪問する方式に変えて実施するなど、工夫を凝らし受講者の減少を最小限に抑えたこと、フェイスブックなどの電子媒体を活用した情報提供、オンラインでの講座申込の拡大に取り組み、幅広い人々が活動しやすい環境を整備したことなど、緑化推進事業の普及啓発に取り組んだことは評価します。新型コロナウイルス感染症の影響が見えない中、新たな生活様式に対応した取組が求められており、オンライン講座の拡大等、更なる取組に期待します。また、令和6年度に開催予定である緑化フェアに向けては、協会が持つ、各種ボランティアとのネットワークを活かして、市民総参加型の緑化フェアの実現に向けての役割を期待します。

経営健全化、業務・組織に関する取組については、等々力緑地再編整備事業により経常収支比率の悪化及び正味財産の低減が想定されることから、協会の事業運営のあり方として、現行事業の必要性や最善の実施方法、収入確保策や支出抑制策の検討と併せて、組織のあり方についても、検討し持続可能な体制を構築することを期待します。

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局緑政部みどりの管理課
----------	------------------	-----	-----------------

2. 本市施策推進に向けた事業取組①(令和3(2021)年度)

事業名	緑化推進・普及啓発事業
計 画 (Plan)	
指標	①広報出稿等回数、②記念樹配布本数
現状	緑化推進・普及啓発事業等を広報する媒体として広報誌・チラシ・パンフレット等の発行からホームページの活用まで幅広い広報活動を展開
行動計画	広報誌・チラシ・パンフレット・タウン紙等の紙媒体からホームページなどの電子媒体を幅広く活用し、広く市民に緑化の推進・普及啓発事業等を周知していく。更にフェイスブック等を活用し、リアルタイムに情報を提供、周知できるよう努めます。
具体的な取組内容	広報誌・チラシ・パンフレット・タウン紙等の紙媒体の発行・配布・投稿依頼については、回数の拡充を図りながら継続します。チラシ等のQRコード添付もパソコンやスマートフォンでの閲覧も継続します。更にホームページをリニューアルしてスマートフォンを中心としたモバイル化を図ります。そしてホームページなどの電子媒体を幅広く活用し、広く市民に緑化の推進・普及啓発事業等を周知していきます。更にフェイスブック等を活用し、リアルタイムに情報の提供・周知を充実します。今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、協会主催の各種講座やイベント等を計画どおり開催することが困難な状況が想定されますが、インターネット等を活用した市民サービスの維持向上に努めてまいります。また、思い出記念樹に係るチラシ等を市内こども文化センター全館や行政・他団体主催のイベント等開催時の配布は継続し、更に緑のボランティア向けに郵送している広報誌や各種講座・イベント開催チラシ等と一緒に同封するなど、効率かつ効果的な紙媒体による情報発信も継続して行います。

実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p>「指標1関連」 広報誌・チラシ・パンフレット・タウン紙等を約37,000部発行したほか、ホームページを年間31回、フェイスブックを183回更新し、リアルタイムな情報の発信、周知を行いました。 また、ホームページをスマホ対応型へリニューアルし、若い世代から年配の方々まで幅広い世代の方々が利用しやすくなるよう工夫し、ホームページ閲覧数は令和3年度は前年度と比較して15,129件から24,722件と増加しました。加えて、講座やイベントの開催情報など四季折々のお知らせを配布するためのチラシポスト等を各カ緑地内の4ヶ所に設置し、実際に来園された方々がその場で手軽に情報収集できる取組を継続して行いました。</p> <p>「指標2関連」 記念樹配布に係るチラシ等を各区役所やこども文化センター、市民館など施設等への配布を行いました。また川崎市・協会各主催のイベント開催時等に配布するなど、効果的な情報発信に努めました。コロナ禍での生活様式の変化により家庭にいる時間が増え、ガーデニング等、家庭において花や植物に触れる機会が増えたことをチャンスと捉え、ホームページやフェイスブック、紙・電子媒体による広報回数の維持に努めたほか、協会に登録している緑の活動団体やボランティア、学校関係等へチラシ・パンフレット類を送付するなど周知を積極的に行いました。 令和2年度より始めた思い出記念樹チラシのQRコード活用も継続して行い、電子媒体等による周知を積極的に行いました。</p>
----------------	--

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	広報出稿等回数	目標値	241	243	245	248	250	回
	説明 広報誌・ホームページ等による緑化推進・普及啓発事業等の広報活動を展開 ※個別設定値: 229 (現状値の95%)	実績値		228	277	237	251	
2	記念樹配布本数	目標値	1,126	1,140	1,150	1,160	1,170	本
	説明 出生、入学、結婚等の市民の思い出記念として、記念樹を贈呈	実績値		1,079	1,129	1,034	1,442	
指標1 に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満					
指標2 に対する達成度		a	※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大やまん延防止等重点措置などの影響で、イベント、講座、講習会等の開催中止等がありました。コロナ禍での生活様式の変化により家庭に居る時間が増え、ガーデニング等、家庭において花や植物に触れる機会が増えたことをチャンスと捉え、ホームページやフェイスブックによる広報を継続して取り組んだほか、協会に登録している緑の活動団体やボランティア、学校関係等へチラシ・パンフレット類を送付するなど周知を積極的に行いました。その結果記念樹配布本数は、直近4年間と比較しても大幅に増加しました。また、ホームページをスマホ対応型へリニューアルし、幅広い世代の方々が利用しやすくなるよう工夫したほか、講座、イベントの開催状況などを四季折々のお知らせを配布するためのチラシポストを等々緑地内4ヶ所に設置し、来園者の方々がその場で手軽に情報収集できる取り組みを継続して行いました。その結果目標値をクリアすることができました。

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A	A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	50,573	50,500	50,300	50,100	50,000	千円
	説明 直接事業費-直接自己収入	実績値		50,541	55,524	53,514	51,031	
行政サービスコストに対する達成度		2)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上					

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

令和3年度の行政サービスコストは、緑化推進・普及啓発事業の緑地保全に係る奨励金の交付基準の見直しに伴い、前年度から減額となる一方で、令和元年度以降、繰越欠損の解消に伴い、職員給与と役員報酬の減額措置を段階的に解除してきた影響により、目標値の範囲を超えたものです。

本市による評価	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコスト」に対する達成度等を踏まえ評価)	区分	区分選択の理由
		(2)	(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局緑政部みどりの管理課
----------	------------------	-----	-----------------

本市施策推進に向けた事業取組②(令和3(2021)年度)

事業名	緑のボランティア事業(緑のボランティアセンター運営事業)
計 画 (Plan)	
指標	①各種講座受講者満足度 ②各種講座受講者数
現状	緑のボランティア活動団体の育成を図るため、応募方式等による各種講座・出前講座を開催するとともに、緑のボランティア活動に対する支援事業を展開し、緑化意識の向上を図っています。
行動計画	緑のボランティア育成と活動支援を目的とした各種講座・出前講座等を開催し、受講者数を増やすとともに、受講者の満足度を高めています。
具体的な取組内容	<p>川崎のみどりを守り育ていく緑のボランティアの育成と活動支援を図る目的で開催する各種講座に市内全域から参加いただけるよう、市内で行われる各種イベントにおいて、各種講座のチラシ等を積極的に配布し、また市政だよりや広報誌、ホームページ等での周知拡充を継続します。今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種講座を計画どおり開催することが困難な状況が想定されますが、自宅学習や動画配信を活用した柔軟な講座内容に取り組み、受講生の満足度の向上を図るとともに、試験的に講座の申込み方法を従来のほかきやメールのほかPCやモバイルなどからインターネットでできる取り組みを開始し、順次各種講座で運用できるシステムを構築していきます。</p> <p>また、コロナ禍における各種講座の内容やテキストの見直し、タイムスケジュールの変更等を行い、充実した満足度が得られるよう工夫を図ります。また、将来の川崎のみどりを守り育てる人材であることや親子向けの講座等も内容を充実させながら継続してまいります。</p> <p>新たな緑のボランティアを発掘し、活動団体や人材バンクへの登録を促す取組として、7区道路公園センターと連携を図り、町内会・管理運営協議会・愛護会等と、公園緑地をフィールドとした出前講座や剪定講習会等の実施や、緑の活動団体が日頃活動している場所に直接訪問し交流を図る取組を行い、みどりのコーディネーターとして地域コミュニティの形成と拡充に努めてまいります。</p>

実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p>「指標1関連」</p> <p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大やまん延防止等重点措置等の影響がある中、緑のボランティア育成と活動支援を目的とした各種講座・出前講座等を145回開催したほか、テキストの監修や講座運営をボランティアと共同で実施し、講座の内容を受講者のニーズに沿ったものにするなどで受講者満足度の向上に努めました。また、感染対策として消毒、検温を徹底するとともに、講座開催に伴う3密を避けるため、会場の拡充や受講者の人数制限、午前午後の2回開催などに取り組み、受講者満足度の向上に努めました。加えて、フェイスブックを活用し中止となった講座の動画配信等するなど、受講者の満足度を更に上げる工夫にも取り組みました。各種講座の申込方法について、一部講座にオンライン申込を開始しました。令和4年度以降も対象講座を拡大する予定です。</p> <p>「指標2関連」</p> <p>令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大やまん延防止等重点措置等の影響で、「里山ボランティア育成講座」が全17回中1回中止、「こども黄緑クラブ」が全12回中8回中止となるなど、計画通りの講座実施が難しい中、テキストや講座内容を見直し、講座の魅力向上と充実にも努め、それぞれ333名、100名の方の受講がありました。また、出前講座にも力を入れて、1,345名の方に受講していただきましたほか、協会に登録している緑の活動団体との交流を図る「現地訪問」は、令和2年度の14団体から28団体へ増やし、194名の参加を得るなど、活動団体との交流を図るとともに各種講座のPRや現地でボランティアに直接チラシ等を配布したり、ホームページ内で講座申込みを行えるなどの説明やPRを行い、受講者数増加に努めました。</p> <p>「その他」</p> <p>公園緑地におけるボランティアの新たな担い手の発掘やグリーンコミュニティの形成を目的として、実証実験を実施しました。実験では中野島2号線歩道植栽(参加者20名)、鶴亀松公園(参加者10名)、菅馬場公園(参加者8名)、百合ヶ丘第3公園(参加者10名)、こやのさ緑道(参加者15名)、御幸公園(参加者16名)の6ヶ所の公園、緑道等で学校やこども文化センター、地元町内会等、既存の愛護団体以外の団体と連携し、人材バンクを活用して剪定作業やクラフト講座を開催しました。市との役割分担などの課題もありましたが、翌年度以降の活動につながるなどの成果が得られました。</p>
----------------	--

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	各種講座受講者満足度	目標値	90	92	94	96	98	%
	説明 受講者アンケートにおいて、「満足」と回答のあった割合	実績値		93	94	99	99	
2	各種講座受講者数	目標値	3,866	3,870	3,880	3,890	3,900	名
	説明 緑のボランティア育成・支援を目的に行う各種講座等の受講者数 ※個別設定値: 3,783 (過去の平均値)	実績値		4,071	3,601	1,385	2,113	
指標1 に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
指標2 に対する達成度		d						

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

令和3年度は、コロナ禍の影響を受けるなかでも、ボランティアの方々に企画段階から参加していただいたり、講座のアシスタントをお願いするなど、市民協働による講座運営を行ったほか、出前講座を積極的に実施するなど講座回数の確保、満足度の向上に努め、145回の講座を実施しました。また、花と緑のまちづくり講座、里山ボランティア講座、花壇ボランティア実践講座、こども黄緑クラブで実施しているアンケートには、計296名の参加者から100%の回答があり、満足度は99%となりました。受講者数につきましては、実績値は前年度を上回りましたが、まん延防止等重点措置期間等、予定していた講座の一部が中止となり、目標値は下回りました。今後も、講座申込みをホームページ内で行えるプログラムを拡充するほか、講座の内容を充実させながら緑のボランティアの育成と活動支援に努めてまいります。

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	C

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	61,305	61,300	61,200	61,100	61,000	千円
	説明 直接事業費-直接自己収入	実績値		63,134	64,189	65,450	67,849	
行政サービスコストに対する達成度		3)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が120%以上					

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

令和3年度の行政サービスコストは、令和元年度以降、繰越欠損の解消に伴い、職員給与と役員報酬の減額措置を段階的に解除してきた影響と、令和2年度よりも講座回数が増えたことに伴い、消耗品費や諸謝金等が増加したため、令和2年度実績値及び令和3年度の目標値超過したものです。

本市による評価	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価)	区分	区分選択の理由
		(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	(3)

改善 (Action)

実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	Ⅰ. 現状のまま取組を継続 Ⅱ. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 Ⅲ. 状況の変化により取組を中止	Ⅱ

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局緑政部みどりの管理課
----------	------------------	-----	-----------------

本市施策推進に向けた事業取組③(令和3(2021)年度)

事業名	公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業
計 画 (Plan)	
指標	①各種イベント等実施回数、②ばら苑来苑者数
現状	収益事業(売店・自動販売機・駐車場)を財源として、独自に展開している各種イベント(自主事業)をはじめ、公園内運動施設、生田緑地ばら苑等の受託運営管理事業を行っています。
行動計画	収益事業の収益額を財源としている各種イベントの実施回数を4年間で10%増加させる目標を設定し、ばら苑でのイベント等の実施を増やしばら苑の来苑者数を増加させます。
具体的な取組内容	今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、協会主催の各種イベント等を計画どおり開催することが困難な状況となることが想定されますが、感染状況等を踏まえ3密に注意しながら、緑の活動団体ボランティアと保育園児との協働による花摘み、花苗植え付け交流や花壇整備の新たな手法である「たねダンゴ講習会」などを実施し、世代を超えた市民協働活動や公園緑地の健全な利用促進のための活動を拡充し継続してまいります。 また、等々力陸上競技場が東京オリンピック・パラリンピックイギリスチームの事前合宿先に決定したことから、川崎市と市民協働でウェルカム事業などにも取り組みます。また、コロナ禍で来苑できない方々のために生田緑地ばら苑ホームページ内で園内の様子やばらの紹介、開花情報などを周知し、市民サービス向上に努めます。

実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p>「指標1関連」 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大やまん延防止等重点措置等の影響で協会主催の各種イベントを計画通り開催することが困難状況でしたが、密を回避するなど感染対策を徹底のうえ屋外での開催可能なイベントは極力開催するよう努め、世代を超えた市民協働活動や公園緑地の健全な利用促進のために等々力陸上競技場で開催される川崎フロンターレの20試合に併せて開催されたCO2削減に向けたリユース食器の活用による環境対策イベントは20回、等々力緑地内花壇植付は2回、自然体験教室は1回、新春たこ揚げ大会は1回、たね団子講習会は8回実施しました。 また、東京オリンピック・パラリンピックイギリスチームの事前合宿先となった等々力陸上競技場では、ウェルカム事業として、イングリッシュガーデンや立体花壇の維持管理を、市民ボランティアと協働で実施しました。</p> <p>「指標2関連」 ばら苑の一般開放については、3密に注意し、消毒、検温等の安全対策を講じ実施しました。開放にあたっては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、野外ライブコンサート、ばら苑ボランティアガイドなどのイベントや物品販売等は中止したほか、秋の一般開放を1週間短縮して実施したことなどから、年間来苑者数は目標値の7割程度に留まりましたが、コロナ禍で来苑できない方々のために生田緑地ばら苑ホームページ内で園内の様子やばらの紹介、開花情報などを周知し、市民サービスの向上に努めました。</p>
----------------	---

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	各種イベント等実施回数	目標値	36	36	37	38	39	回
	説明 サッカーフェスタ、風揚げ大会、釣り教室、ばら苑コンサートなどの実施回数 ※個別設定値: 34(現状値の95%)	実績値		43	51	33	32	
2	ばら苑来苑者数	目標値	75,112	95,200	96,000	98,000	100,000	人
	説明 生田緑地ばら苑における春・秋の一般開放の来苑者数	実績値		86,867	80,856	32,336	68,145	
指標1 に対する達成度		C	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
指標2 に対する達成度		C						

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

令和3年度は、まん延防止等重点措置の影響により、協会の自主事業である各種イベントの多くを中止せざるを得ない状況の中でも、屋外でのイベントは、3密に注意し、世代を超えた市民協働活動や公園緑地の健全な利用促進のために等々力陸上競技場で開催される川崎フロンターレの試合に併せた環境対策イベントや等々力緑地内花壇の植付、たね回子講習会などのイベントを工夫を重ね32回実施しましたが、目標の達成には至りませんでした。

また、例年春と秋の年2回一般開放をしている生田緑地ばら苑も、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から秋の開催は、1週間短縮しての開放となりました。コロナ禍の中、3密に注意し、消毒、検温等の安全対策を講じるなど十分なコロナ対策をして2年ぶりに春と秋に開放したことから前年度からは2倍超の来苑者となりましたが、開苑中の各種イベント等を中止としたことなどもあり、目標値の7割程度に留まりました。一方、コロナ禍で来苑できない方々のために生田緑地ばら苑ホームページ内で園内の様子やばらの紹介、開花情報などを周知し、市民サービスの向上に努めました。

本市による評価

達成状況	区分	区分選択の理由
	D	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、生田緑地ばら苑の秋一般開放期間を短縮するなど、各種イベント開催を中止・縮小せざるを得ず、各成果指標が目標値を達成できなかったため。

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	238,681	209,000	208,000	207,000	206,000	千円
	説明 直接事業費ー直接自己収入	実績値		195,964	212,343	194,352	187,525	
行政サービスコストに対する達成度		1)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が120%以上					

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

令和3年度は、まん延防止等重点措置や継続的なコロナ禍の影響により協会自主事業である各種イベント等の多くが中止となりました。それに伴い、自主事業費の経費が未執行となり前年度実績値及び今年度目標値を下回りました。今後も事業経費の削減と見直しに努めてまいります。

本市による評価

費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価)	区分	区分選択の理由
	(3)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、生田緑地ばら苑の秋の一般開放期間を短縮するなど、イベントが縮小・中止となり、経費の支出が減ったことにより行政サービスコストが目標値の範囲内であるものの、各成果指標が目標値を達成できなかったため。

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	II	令和3年度は、まん延防止等重点措置や継続したコロナ禍の影響により各種イベント等の実施が困難な状況にある一方で、市民の憩いの場として公園緑地の存在が再評価されてきており、協会の公益目的事業である公園緑地の円滑な運営及び健全な利用促進を図るため、積極的な広報を行うとともに、今後も各種イベントの内容を工夫、拡充し、事業経費の削減と見直しを図り、目標達成に向けて取り組んでまいります。

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局緑政部みどりの管理課
----------	------------------	-----	-----------------

3. 経営健全化に向けた取組①(令和3(2021)年度)

項目名	経費の削減
計画 (Plan)	
指標	一般管理費
現状	平成25年度公益財団法人への移行に伴い、平成26年度以降組織再編と人件費、事業経費削減を図り、平成29年度も継続して事業の見直しと人員配置変更等を行い、法人運営費にあたる一般管理費の見直しを行っています。
行動計画	光熱水費、消耗品、物件のリース等について、日常の業務見直し、一括発注などにより、一般管理費の経費削減を図ります。
具体的な取組内容	前年度に引き続き事務経費である一般管理費のムダを省き、事務所内の廊下や室内のムダな電気消灯などによる光熱水費削減や、消耗品費等の見直し、再リース契約の期間延長、警備委託の多年契約など、経費削減を継続的に推進します。 また、正規職員の退職に伴う新規職員の補充は行わず、効率的な人員配置などにより、収益事業の拡充とコスト削減に努めます。

実施結果 (Do)

経営健全化に向けた活動実績	<p>「指標1関連」 令和2年度末に正規職員3名が定年退職しましたが、令和3年度正規職員の採用は行わず、公益目的事業1である、緑のまちづくりの推進及び啓発に関する事業に重点的に人員を配置するなど、効率的な人員配置をすることで、職員給与の削減をしつつ、事業の安定的実施を実現しました。</p> <p>「その他」 収益拡大策として、公園への自動販売機設置を進め、新たに8台設置しました。また、更なる設置数拡大に向けて、自動販売機設置の可能性がある公園の調査を実施しました。</p>
---------------	--

評価 (Check)

経営健全化に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	一般管理費	目標値		23,500	23,000	22,500	22,000	千円
	説明 一般管理費の経費総額 ※個別設定値: 24,857(現状値の105%)	実績値	23,673	22,699	26,365	25,783	19,383	
指標1に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
令和2年度末に正規職員3名が定年退職しましたが、新たな職員採用は行わず、人件費を削減したことにより、一般管理費は、今年度目標値を達成しました。今後も職員の適正配置に努めるとともに、管理経費の見直しにも取り組んでまいります。								

	達成状況	区分	区分選択の理由
		A	効率的な人事配置等を実施することにより、一般管理経費の削減に努め令和2年度実績から大きく減少し、目標を達成することが出来たため。

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I

4. 業務・組織に関する取組①(令和3(2021)年度)	
項目名	人事給与制度改革
計画(Plan)	
指標	役員報酬、正規職員給与
現状	平成26年度公益財団法人への移行とゴルフ事業からの撤退に伴い組織再編を継続し人事給与の見直しを行い、役員報酬及びプロバ職員給与月額を減額しています。
行動計画	今後も継続して経営、財政の安定化を図り、人件費削減に努めます。
具体的な取組内容	平成26年度以降経営は堅調に推移してきており、令和元年度には繰越欠損が解消され、令和3年度も昨年度のコロナ禍による一時的な赤字状況は改善の見込みであるため、役員報酬額の減額を解除するものとします。来年度に向けて川崎市出資法人の経営改善及び連携・活用に関する指針による業績や目標達成度、経営責任の度合いを反映した役員業績評価の導入に向けた取り組みを検討してまいります。また、正規職員の退職に伴う新たな正規職員の採用は行わず、今後も継続して経営・財政の安定化を図るとともに、正規職員の退職動向に併せた効率的な職員配置などにより、人件費削減に努めます。

実施結果(Do)	
業務・組織に関する活動実績	<p>「指標1関連」</p> <p>平成26年度からの堅調な経営により、令和元年度に繰越欠損が解消となり、令和3年度も収益確保と経費削減等の実施に努めた結果、昨年度のコロナ禍による一時的な赤字経営から黒字経営となり、役員報酬額の減額は解除しました。また、令和2年度、3名の正規職員が退職しましたが、正規職員の採用は行わず、公益目的事業1である、緑のまちづくりの推進及び啓発に関する事業に重点的に人員を配置するなど、効率的な人員配置をすることで、職員給与の削減をしつつ、事業の安定的実施を実現しました。</p> <p>また、令和4年度からの役員業績評価による報酬反映のため、令和3年度の業績や目標達成度、経営責任の度合をもとにした評価を、次年度の役員報酬額に反映させる仕組みを構築しました</p>

評価(Check)								
業務・組織に関する指標		目標・実績	H29年度(現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	役員報酬、正規職員給与	目標値		87,000	87,000	87,000	63,000	千円
	説明 役員報酬・正規職員給与と経費	実績値	88,227	87,770	97,340	97,150	73,282	
指標1に対する達成度		b	<p>a. 実績値が目標値以上</p> <p>b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満</p> <p>c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満</p> <p>d. 実績値が目標値の60%未満</p> <p>※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載</p>					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
令和3年度、役員報酬・正規職員給与と経費は、令和2年度末に退職した正規職員3名に代わる、正規職員の採用を、実施しなかった結果、現状値は下回りました。しかし、平成26年度からの堅調な経営により、令和元年度に繰越欠損が解消となって以降、職員給与と役員報酬の減額措置を段階的に解除してきた影響により、令和3年度の目標値は超過しました。								

	達成状況	区分	区分選択の理由
		<p>A. 目標を達成した</p> <p>B. ほぼ目標を達成した</p> <p>C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった</p> <p>D. 現状を下回るものが多くあった</p> <p>E. 現状を大幅に下回った</p>	<p>C</p> <p>R2年度末に正規職員3名の定年退職に伴う職員の採用を実施しなかった結果、現状値を下回ったが、目標値は達成できなかったため。</p>

改善(Action)		
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	<p>I. 現状のまま取組を継続</p> <p>II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続</p> <p>III. 状況の変化により取組を中止</p>	<p>II</p> <p>令和3年度末に正規職員1名が定年退職しましたが、正規職員の採用は、昨年度に引続き行わない予定です。</p>

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局緑政部みどりの管理課
----------	------------------	-----	-----------------

業務・組織に関する取組②(令和3(2021)年度)

項目名	コンプライアンスの徹底
計画 (Plan)	
指標	コンプライアンスに反する事案の発生件数
現状	コンプライアンスに関連する規則の倫理行動基準を遵守しています。
行動計画	引き続きコンプライアンスに関連する規則の倫理行動基準を遵守し、コンプライアンスに反する事案の発生を未然に防ぎます。
具体的な取組内容	引き続き関係法令、条例、契約、仕様内容に基づく業務を遂行し、協会規程、要綱等を遵守し、事案が発生しないよう努めてまいります。

実施結果 (Do)

業務・組織に関する活動実績	管理職会議や朝礼等で情報共有を行いコンプライアンスの徹底を図るとともに、各職場の安全衛生推進者のもと、施設内での朝礼等で作業安全管理の徹底を図り、管理職会議等で情報共有し安全衛生等を遵守しました。また、昨今の地震・風水害等の災害に備え、協会独自の「大規模災害対応マニュアル」(改訂版)を作成し、職員に周知徹底を図りました。
---------------	---

評価 (Check)

業務・組織に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	コンプライアンスに反する事案の発生件数	目標値	0	0	0	0	0	件
	説明 事案が発生しないよう努める	実績値		0	0	0	0	
指標1に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
今年度も、安全衛生推進者による各施設管理における作業の安全管理の徹底を継続するとともに、昨今の地震や風水害の被害に備えるため、協会独自の「大規模災害対応マニュアル」(改訂版)を作成し、職員に周知徹底を図りました。								

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A	安全衛生推進者を中心に作業安全管理を徹底しているほか、協会独自の「大規模災害対応マニュアル」を改定するなど、安全衛生の確保に十分に取り組んでいることに加え、コンプライアンスに反する事案が認められないため。

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I

●法人情報

(1)財務状況

収支及び財産の状況(単位:千円)		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
正味財産増減計算書	(一般正味財産増減の部)				
	経常収益	473,573	473,425	427,441	473,597
	経常費用	435,396	468,794	445,538	445,300
	当期経常増減額	38,176	4,631	△ 18,097	28,298
	当期一般正味財産増減額	37,956	△ 2,742	△ 18,317	28,078
貸借対照表	(指定正味財産増減の部)				
	当期指定正味財産増減額				
	正味財産期末残高	555,913	553,171	534,854	562,932
貸借対照表	総資産	699,518	717,162	705,061	693,601
	流動資産	294,898	280,636	305,804	211,897
	固定資産	404,620	436,525	399,257	481,705
	総負債	143,604	163,990	170,207	130,670
	流動負債	34,840	42,856	85,919	63,551
	固定負債	108,764	121,134	84,288	67,118
	正味財産	555,913	553,171	534,854	562,932
	一般正味財産	424,913	422,171	403,854	431,932
	指定正味財産	131,000	131,000	131,000	131,000
エラーチェック		OK	OK	OK	OK
本市の財政支出等(単位:千円)		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
	補助金	97,564	98,069	101,231	99,955
	委託料	178,387	183,992	186,091	194,596
	指定管理料				
	貸付金(年度末残高)				
	損失補償・債務保証付債務(年度末残高)				
	出捐金(年度末状況)	131,000	131,000	131,000	131,000
	(市出捐率)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
財務に関する指標		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
	流動比率(流動資産/流動負債)	846.4%	654.8%	355.9%	333.4%
	正味財産比率(正味財産/総資産)	79.5%	77.1%	75.9%	81.2%
	正味財産利益率(当期正味財産増減額/正味財産)	6.8%	-0.5%	-3.4%	5.0%
	総資産回転率(経常収益/総資産)	67.7%	66.0%	60.6%	68.3%
	収益に占める市の財政支出割合 (補助金+委託料+指定管理料)/経常収益	58.3%	59.6%	67.2%	62.2%

法人コメント

現状認識	今後の取組の方向性	本市が今後法人に期待することなど
<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、各種講座等の多くを中止・縮小しましたが、感染症対策を徹底し開催可能な講座は開催したほか、講座のオンライン配信を行うなど、効果的な各事業の実施に努めました。</p> <p>収益事業は、施設の利用停止がなかったことにより、駐車場等事業収益が約4,500万円増加したことから、前年度より収益が増加しました。</p> <p>経常収支については、施設の利用停止を解消したことに伴う施設管理経費の増などはあったものの、退職した職員3人に代わる新規職員採用を見送ったことにより経常費用の増加が抑えられ、当期一般正味財産増減額は、約2,800万円の黒字となりました。</p>	<p>令和5年度に実施予定の等々力緑地再編整備事業の影響による大幅な収益減少に対する安定的な財源の確保と協会事務所の移転先等が重要な課題となっています。収益改善のために現行事業の必要性の見直しに加えて、採算性の低い収益事業の整理等を進めてまいります。</p> <p>さらに、全国都市緑化かわさきフェア開催を見据え、緑のボランティア活動との連携・協力を一層充実する必要があります。</p> <p>このため、所管部局と、緑のボランティア事業等の充実・強化について協議を進め、グリーンコミュニティの形成による潤いと安らぎのある街づくりにも努めてまいります。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響が見通せない中、新たな実施手法への対応等が求められており、オンライン講座の拡大等、更なる取組に期待します。</p> <p>また、令和6年度に開催予定である緑化フェアに向けては、協会が持つ、各種ボランティアとのネットワークを活かして、市民総参加型の緑化フェアの実現に向けての役割を期待します。</p> <p>経営健全化、業務・組織に関する取組については、引き続き効率的な協会運営に努めるとともに、現行事業の必要性や最善の実施方法、収入確保策や支出抑制策の検討と併せて、組織のあり方についても、検討し持続可能な体制を構築することを期待します。</p>

(2)役員・職員の状況(令和4年7月1日現在)

	常勤(人)			非常勤(人)		
	合計	(うち市派遣)	(うち市OB)	合計	(うち市在職)	(うち市OB)
役員	3	0	2	6	0	0
職員	16	0	3	0	0	0

【備考】

●総役員に占める本市職員及び退職職員の割合が3分の1を超過していることについての法人の見解

・理由

・今後の方向性